

ダイワ アダージオ V3

ハートフォード生命保険株式会社の変額個人年金保険I型 2003
特別加算金付最低保証年金特約 1510 型

「ダイワ アダージオ V3」は、大和証券株式会社が販売する
ハートフォード生命保険株式会社の生命保険商品です。

株60型

特別勘定の月次運用レポート 2012年4月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●解約、一部解約(特別払戻を除く)をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。

●保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.36%の割合で資産残高から毎日控除されます。

●運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して年率0.42%(税抜0.40%)程度の割合で毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。

●年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。

●解約手数料:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約(特別払戻を除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%~3%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。

※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

*この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費」)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約手数料」がかかります。

- ・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] ハートフォード生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

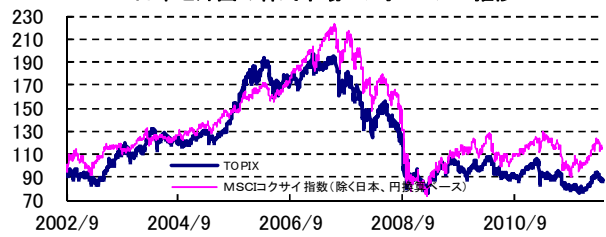
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.58%	8.16%	5.92%	▲ 3.34%	7.85%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 5.86%	6.49%	5.26%	▲ 5.59%	▲ 4.00%
日本債券	NOMURA-BPI	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 1.80%	11.29%	8.23%	▲ 6.98%	24.00%
外国債券	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	▲ 2.68%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 1.22%	6.30%	4.42%	▲ 1.08%	▲ 16.97%

日経平均株価(円)の推移

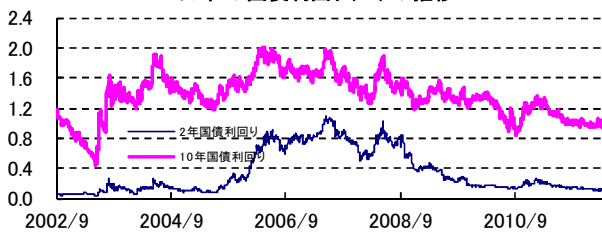


日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

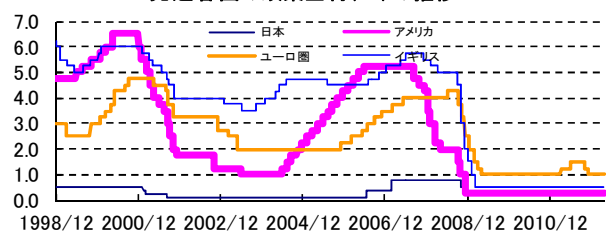


* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

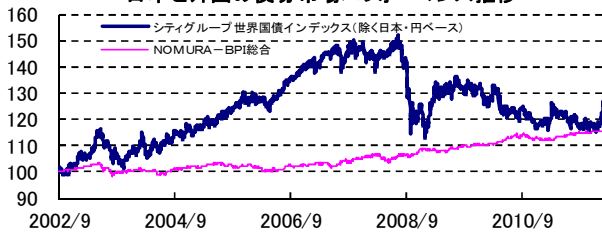
日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

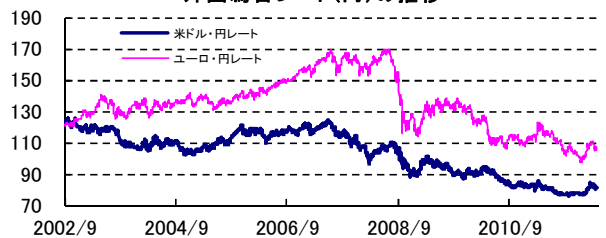


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村証券株式会社によって計算、公表されている、野村証券株式会社の知的財産です。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。

【日本株式市場】

4月の日経平均株価は、日本経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことなどから、前半は大きく下落しました。その後も欧州債務問題への不安が広がったことによる投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調が続き、前月末より563円安の9,520円で取引を終了しました。

【日本債券市場】

新発10年国債利回りは、序盤こそ上昇する局面も見られましたが、依然として欧州債務問題への不安が拭えていないことや市場が日銀による更なる金融緩和を期待していたことなどから、低下基調が続き、前月末比低下の0.8%台後半で月末をむかえました。

【外国株式市場】

NYダウは、雇用統計の結果などを受け軟調に推移しましたが、好調な企業業績に支えられ月末にかけて持ち直す動きがあり、前月末とほぼ同じ13,213ドルで取引を終了しました。独株式市場は、スペインを含む欧州各国の債務問題の再燃があり、前月末を下回り取引を終了しました。

【外国債券市場】

米10年国債利回りは、欧州債務問題だけではなく世界景気にも先行き不透明感が高まったことで月を通じて低下基調が続き、前月末を下回り月末をむかえました。独10年国債利回りは、欧州内での資金逃避先として選好される動きが強まり、前月末を下回り月末をむかえました。

【外国為替市場】

米ドルは、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから、円高基調が続き、前月末比円高の1ドル=81円台前半で月末をむかえました。ユーロは、欧州債務問題への不安感などから売られる動きが続き、前月末比円高の1ユーロ=107円台前半で月末をむかえました。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界アセット60 DW	●	●	●	●	ダイワ世界バランスファンド60VA	大和証券投資信託委託 株式会社	98.0%	2.0%	2,699

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
ダイワ世界バランスファンド60VA	日本株式、日本債券、外国株式、外国債券それぞれのマザーファンドを主要投資対象とし日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

世界アセット60 DW



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.29%	4.44%	3.81%	-2.54%	14.69%	-21.92%

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット60 DW

【特別勘定が投資する投資信託】

ダイワ世界バランスファンド60VA

【運用会社】

大和証券投資信託委託株式会社

主要投資対象

トピックス・インデックス・マザーファンド、ダイワ日本債券インデックスマザーファンド(BPI)、外国株式インデックスマザーファンドおよび外国債券インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。

運用方針

日本株式、日本債券、外国株式、外国債券それぞれのマザーファンドを主要投資対象とし日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行ないます。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行ないません。

各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行ないます。

トピックス・インデックス・マザーファンド:「東証株価指数(TOPIX)」

ダイワ日本債券インデックスマザーファンド(BPI):「NOMURA-BPI総合指数」

外国株式インデックスマザーファンド:「MSCIロクサイ指数(円ベース)」*

外国債券インデックスマザーファンド:「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」

*当ファンドは外国株式インデックスマザーファンドの受益証券組入れに伴う実質外貨建資産については、為替ヘッジを行ないますので、当ファンドでのベンチマークは「MSCIロクサイ指数(円ヘッジ・ベース)」となります。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

＜基準価額・純資産の推移＞

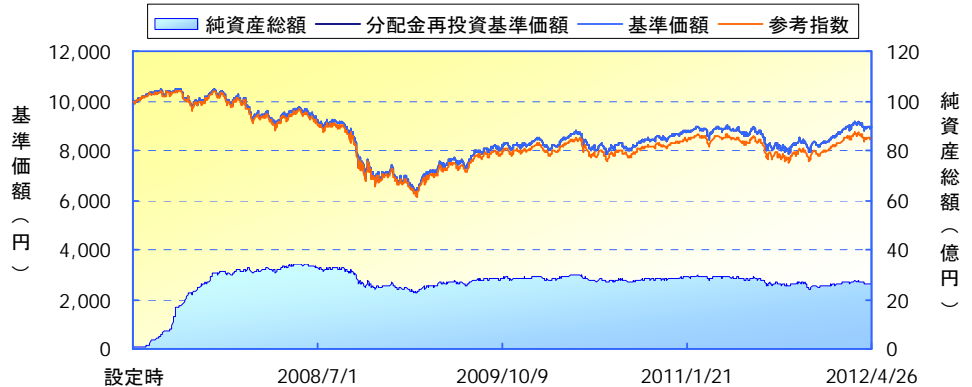
2012年4月27日時点

基準価額	8,952円
純資産総額	26.47億円

期間別騰落率

期間	ファンド	参考指数
1か月間	-1.1%	-1.2%
3か月間	+5.1%	+4.7%
6か月間	+5.2%	+5.2%
1年間	-0.2%	-1.3%
3年間	+23.6%	+20.4%
5年間	-12.7%	-16.7%
年初来	+7.8%	+7.2%
設定来	-10.5%	-14.9%

当初設定日(2007年3月27日)～2012年4月27日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして修正した基準価額です。

※基準価額の計算において、信託報酬は控除しています。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。

※グラフ上の参考指数は、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年・月)	分配金
第1期 (07.12)	0円
第2期 (08.12)	0円
第3期 (09.12)	0円
第4期 (10.12)	0円
第5期 (11.12)	0円
---	---
---	---

分配金合計額 設定来:0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

＜各ファンドの組入状況＞

	ファンド組入比率	標準組入比率	差
トピックス・インデックス・MF	9.5%	10.0%	-0.5%
日本債券インデックスMF(BPI)	14.7%	15.0%	-0.3%
外国株式INDEXMF	49.2%	50.0%	-0.8%
外国債券INDEXMF	24.6%	25.0%	-0.4%
---	---	---	---
---	---	---	---
合計	98.0%	100.0%	---

通貨別実質資産構成

通貨	比率
日本円	75.9%
ユーロ	9.9%
米ドル	9.8%
英ポンド	2.1%
カナダ・ドル	0.7%
豪ドル	0.4%
デンマーク・クローネ	0.2%
メキシコ・ペソ	0.2%
ポーランド・ズロチ	0.2%
その他	0.6%
合計	100.0%

資産別構成

資産	銘柄数	比率
国内株式	1294	9.3%
国内株式先物	1	0.2%
外国株式	1193	47.6%
外国株式先物	1	0.7%
国内債券	277	14.6%
国内債券先物	---	---
外国債券	628	24.1%
外国債券先物	---	---
国内不動産投資信託等	---	---
外国不動産投資信託等	44	1.0%
コール・ローン、その他	---	3.4%
合計	3438	---

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット60 DW

【特別勘定が投資する投資信託】

ダイワ世界バランスファンド60VA

【運用会社】

大和証券投資信託委託株式会社

主要投資対象

トピックス・インデックス・マザーファンド、ダイワ日本債券インデックスマザーファンド(BPI)、外国株式インデックスマザーファンドおよび外国債券インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。

運用方針

日本株式、日本債券、外国株式、外国債券それぞれのマザーファンドを主要投資対象とし日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行いません。

国内株式ポートフォリオの構成

※比率は、ベビーファンドの純資産総額に対するものです。

(ご参考)

ベンチマーク騰落率
トピックス・インデックス・MF

期間別騰落率
期間 ベンチマーク

1カ月間	-5.9%
3カ月間	+6.5%
6カ月間	+5.3%
1年間	-5.6%
3年間	-4.0%
5年間	-52.7%
年初来	+10.4%
設定来	-53.8%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	組入比率
トヨタ自動車	輸送用機器	0.4%
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	0.2%
本田技研	輸送用機器	0.2%
キヤノン	電気機器	0.2%
三井住友フィナンシャルG	銀行業	0.2%
日本電信電話	情報・通信業	0.1%
みずほフィナンシャルG	銀行業	0.1%
ファナック	電気機器	0.1%
武田薬品	医薬品	0.1%
三菱商事	卸売業	0.1%

組入上位10業種

業種	組入比率
電気機器	1.3%
輸送用機器	1.0%
銀行業	0.9%
情報・通信業	0.6%
化学	0.6%
卸売業	0.5%
機械	0.5%
医薬品	0.4%
小売業	0.4%
陸運業	0.4%

資産別構成

資産別	組入比率
株式	9.3%
株式先物	0.2%
株式実質	9.5%

国内債券ポートフォリオの構成

※比率は、ベビーファンドの純資産総額に対するものです。

(ご参考)

ベンチマーク騰落率
日本債券インデックスMF(BPI)

期間別騰落率
期間 ベンチマーク

1カ月間	+0.5%
3カ月間	+0.7%
6カ月間	+1.5%
1年間	+3.1%
3年間	+7.6%
5年間	+12.4%
年初来	+0.9%
設定来	+12.7%

組入上位10銘柄

銘柄	残存年数	組入比率
312 10年国債	8.65	0.2%
288 10年国債	5.40	0.2%
299 10年国債	6.90	0.2%
310 10年国債	8.41	0.2%
303 10年国債	7.40	0.2%
87 5年国債	2.65	0.1%
86 5年国債	2.40	0.1%
88 5年国債	2.90	0.1%
287 10年国債	5.15	0.1%
309 10年国債	8.15	0.1%

セクター別比率

種別	組入比率
国債	9.9%
事業債	2.2%
地方債	1.4%
政府保証債	0.7%
金融債	0.2%

残存期間別比率(対ポートフォリオ比)

残存年数	組入比率
1年未満	---
1年以上~3年未満	24.7%
3年以上~7年未満	33.5%
7年以上~10年未満	17.4%
10年以上	24.4%

ポートフォリオプロフィール

残存年数(年)	8.07
デュレーション(年)	7.10
複利利回り(%)	0.68

資産別構成

資産別	組入比率
債券	14.6%
債券先物	---
債券実質	14.6%

外国株式ポートフォリオの構成

※比率は、ベビーファンドの純資産総額に対するものです。

(ご参考)

ベンチマーク騰落率
外国株式INDEXMF

期間別騰落率
期間 ベンチマーク

1カ月間	-1.8%
3カ月間	+11.3%
6カ月間	+8.2%
1年間	-7.0%
3年間	+24.0%
5年間	-43.7%
年初来	+14.9%
設定来	-40.1%

組入上位10銘柄

銘柄	国	業種	組入比率
APPLE INC	アメリカ	情報技術	1.2%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	0.9%
INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	情報技術	0.5%
MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	0.5%
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.5%
GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財・サービス	0.4%
NESTLE SA-REG	スイス	生活必需品	0.4%
AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.4%
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	生活必需品	0.4%
PFIZER INC	アメリカ	ヘルスケア	0.4%

組入上位10カ国

国	組入比率
アメリカ	28.9%
イギリス	5.2%
カナダ	2.7%
フランス	2.0%
オーストラリア	2.0%
スイス	1.9%
ドイツ	1.9%
スウェーデン	0.7%
香港	0.7%
スペイン	0.6%

組入上位5業種

業種	組入比率
金融	9.1%
情報技術	6.3%
エネルギー	5.8%
生活必需品	5.4%
ヘルスケア	5.1%

資産別構成

資産別	組入比率
株式(REIT含む)	48.6%
株式先物	0.7%
株式実質	49.2%

外国債券ポートフォリオの構成

※比率は、ベビーファンドの純資産総額に対するものです。

(ご参考)

ベンチマーク騰落率
外国債券INDEXMF

期間別騰落率
期間 ベンチマーク

1カ月間	-1.3%
3カ月間	+7.0%
6カ月間	+7.1%
1年間	+1.2%
3年間	-2.7%
5年間	-12.8%
年初来	+7.1%
設定来	-10.7%

組入上位10銘柄

銘柄	通貨	残存年数	組入比率
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	7.55	0.1%
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	6.55	0.1%
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	6.80	0.1%
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	7.05	0.1%
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	7.30	0.1%
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	7.80	0.1%
U.S. TREASURY NOTE	米ドル	8.05	0.1%
UNITED KINGDOM GILT BOND	英ポンド	26.61	0.1%
U.S. TREASURY BOND	米ドル	27.55	0.1%
U.S. TREASURY BOND	米ドル	27.80	0.1%

通貨別比率

通貨	組入比率
ユーロ	10.2%
米ドル	10.1%
英ポンド	2.0%
カナダ・ドル	0.7%
豪ドル	0.4%

残存期間別比率(対ポートフォリオ比)

残存年数	組入比率
1年未満	1.2%
1年以上~3年未満	28.3%
3年以上~7年未満	32.2%
7年以上~10年未満	15.9%
10年以上	22.4%

ポートフォリオプロフィール

残存年数(年)	8.32
デュレーション(年)	6.16
複利利回り(%)	1.95

資産別構成

資産別	組入比率
債券	24.1%
債券先物	---
債券実質	24.1%

※当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

※特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

※各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。